

# Murayama.Honda Dream.RT

## 2022年MFJ全日本ロードレース選手権

### ●第8戦 11/5(土)-6(日) MFJ GP スーパーバイクレース in 鈴鹿 開催場所:鈴鹿サーキット (三重県)



2022年の全日本ロードレース選手権JSBクラスの戦いも、この鈴鹿ラウンドでいよいよファイナルとなった。今年は7会場で13レースが予定されたことから、この鈴鹿で土曜日1レース、日曜日2レースの計3レースを行う変則形式を採用。2日間で上位に食い込めばポイントランキングも大きくジャンプアップすることで、各ライダーの気合の入り方も違う。また、来季を見据えて代役やスポット参戦するライダーも多く、なんとしても結果を出したいライダー同士が鎧を削ることで、毎年白熱した戦いが繰り広げられることも最終戦の見どころだ。

さらに、コロナ禍において観客側にも様々な制限があったのだが、このレースからパドックのピットウォークやサイン会などが解禁。GPスクエアではイベントステージで盛り上がり、様々なブースが

出店し、サーキットはお祭りのような華やかな雰囲気に包まれていた。

レースが開催された土日は天候も良く、両日とも朝から快晴となったが、晩秋の鈴鹿サーキットに吹く風は冷たく、時折り強風にあおられるため、タイヤ選びやスリップストリームに付くなどの作戦が難しくなったのも当日のレースの特徴だった。Murayama.Honda Dream.RTの秋吉選手は3レースの中でも、特に日曜日のレース2に向けてマシンをセッティング。レース1は20周、レース3は15周で争われるが、レース2は12周と距離が短く、スタートの巧さと序盤のスプリントに定評のある秋吉選手の強みを生かした作戦をとった。

レース1は土曜日の午前中に行われた予選のセカンドラップタイムでスターティンググリッドを決定。秋吉選手は10位からスタートし、途中8位まで順位を上げたが、20週のレースでタイヤ選択が合わず、最終的に10位となった。

日曜日のレース2はレース1のベストラップでスターティンググリッドが決定。秋吉選手は12番グリッドだったがオープニングラップで6位にジャンプアップ。狙い通りの展開で、さらに上位を目指したが、レース終盤にストレートスピードに勝るライバルにかわされ、8位でチェッカーを受けた。レース3は予選のセカンドラップでスタート順位を決定。12番グリッドでからスタートし、ひとつ順位を上げて、11位でフィニッシュした。

序盤の5レースを欠場した秋吉選手だが、レース復帰後は確実にポイントを得て、後半戦は上位にも食い込む活躍を見せたのは、ファンにとって嬉しい結果だ。なお、今回のレースもホンダドリームジャパンからは、姫路・名古屋南から2名がメカニックサポートを実施。日ごろホンダドリームに勤務するスタッフがタイヤや燃料の管理、ピットストップ時の事前準備や作業など、国内トップカテゴリーのロードレースで貴重な体験を得た。秋吉選手は今回の3レースで28ポイントを獲得。怪我から復帰した7レースですべてポイントを稼ぎ、後半になるほどマシンも自らも調子を上げてきた。前半のアクシデントが無ければもっとランキングも上位に食い込めたはずだ。この調子を維持して、来年度はスタートダッシュを決めてほしい。



秋吉耕佑選手

■第8戦レース結果

レース1 予選10位 決勝10位(9ポイント獲得)

レース2 予選12位 決勝8位(11ポイント獲得)

レース3 予選12位 決勝11位(8ポイント獲得)

# MFJ全日本ロードレース選手権

2022年ポイントランキング JSB1000クラス 総合12位



## 秋吉耕佑選手コメント

まず、応援していただいたファンの皆様、サポートしていただいたスポンサーの方々に感謝いたします。初戦のアクシデントで前半を欠場し、ご心配をおかけしましたが、復帰してからの後半戦はマシンも自身の調子も上向きで、チームの雰囲気も一戦一戦良くなっていきました。今年は、自分にもチームにも足りない部分や課題が明確になった一年であり、その部分が明確になって、ひとつひとつ解決していったことが後半戦の好結果につながったと思います。来年度は調子を維持してチーム体制を整え、もっと魅せる走りをして、ファンの皆様やサポートしていただいている方々に楽しんでもらえたらと思います。今後も応援、よろしくお願いします！

**Murayama.Honda Dream.RT**